

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ1号

2017年3月

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクトは、「ムシが集まり、人も集う豊かな里山づくり」を目的に、2011年にスタートした活動です。活動を始めて7年目となり参加登録されている皆様とよりコミュニケーションをとる機会として会報を発行することにしました。これからは、活動（年間4～5回）に加えて会報を通じて情報を発信していきます。

目次

1. 2017年活動日程 2
2. ムシプロだより 3
3. 自然の楽しみ方（冬・早春） 4
4. 事務局より 4

今月の表紙



アオジ（ホオジロ科）

秋・冬は平地で過ごす。背の高い草むらの中でチッチッと鳴いていた。警戒心が強く、正体を確かめようと近づくとすぐ飛び去ってしまう。遠くへ飛ばなかった個体を撮った。鳴き声の正体が解った感動の一枚です。

（写真・文 西野 孝法）

1. 2017年活動日程

2017年の活動日程が、確定しました。2017年は、5回行います。うち2回は宿泊を伴う活動になります。

今年もフィールド整備に汗を流し、日本の自然を愉しみましょう。

<活動のテーマ>

第一回：4月8日（土）春の訪れを喜んでいる生き物の声を聴きます。

第二回：6月10日（土）・11日（日）雨の季節を待ち望んでいた生き物の活動を覗きます。

第三回：7月8日（土）国の特別天然記念物「ヤマネ」のいる森で自然林の力強さを体感します。

第四回：9月9日（土）・10日（日）冬を前にして生き物たちの活動が活発になります。小さな秋を見つけます。

第五回：11月25日（土）晩秋のコナラ広場で冬の足音を確かめます。
お昼を食べながら耳を澄ましましょう。

<活動の概要>

活動日	作業	観察・講習	募集人数
4月8日(土)	第二ピオトープ整備(畔の整備)	早春の雑木林(カタクリの花)	20名
6月10日(土)~11日(日)	・バタフライガーデンの整備(草取り) ・ヒヤクニチソウの植え付け	・モリアオガエル ・夏の雑木林	20名
7月8日(土)	・バタフライガーデンの整備(花がらとり)	県民の森で生き物観察	20名
9月9日(土)~10日(日)	菜の花、レンゲの種まき	鳴くムシ、赤トンボ	20名
11月25日(土)	・木の葉さらい ・エコトープを使った昼食づくり	冬越しのムシ(クワガタムシの幼虫)	20名

※各活動の約一ヶ月前に実施要項を作成し配布します。



今年もよろしくお願ひ致します。
皆様と一緒に活動することを楽しみにしております。
皆様の参加をお待ちしております。
また、お友達やご近所の方も誘ってください。
スタッフ一同

2. ムシプロだより

① スタッフミーティング開催

2017年2月18日（土）
スタッフミーティングが行われ、活動の目的を確認、2016年の振り返りと2017年の活動計画について検討を行いました。
さらにスタッフは、皆さんと自然の橋渡し役となること、各個人の個性を発揮することを確認しました。

ミーティングの様子



私と遠藤さんがカメラ目線になっています（笑）

② 新型ライトトラップ

スタッフの大原さんが、
新型のライトトラップを披露しました。
特長は、飛来した昆虫を吸い込むファンが取り付けられていることです。
6月と9月の活動の時に使う予定です。
結果がとても楽しみです。
トラップづくりは、ムシの習性、生活史を知っていることと工作技術とアイデアの結晶です。
皆さんも工夫を凝らしてトラップづくりに挑戦してください。



ブラックライト



飛来した昆虫を吸い込むファン

カメラ用の三脚

3. 自然の楽しみ方（冬・早春）

● ムシたちの冬

ムシたちの一生は実に多様性に富んでいる。冬の過ごし方もそれぞれの生活史に応じて最適な形で過ごす。葉が枯れてすぐに目につくのがカマキリの卵（卵のう）である。よく見ると種類によって形が違うばかりでなく産み付けられる場所にも特徴があることがわかる。

オオカマキリ：林道・林縁のススキ、低木の細い枝

チョウセンカマキリ：開けた草地の背の高い草、低木の高いところの枝、幹

ハラビロカマキリ：樹木の太い幹、人家の壁、電柱など

新潟県では、カマキリの卵が産み付けられている高さでその年の雪の量を占っていたという話を聞いたことがある。私の故郷（福井県）では「モズのハヤニエ」の高さで占っていた。

この原稿を書いている、子供のころカマキリの卵のことを「カマキリの巣」と呼んでいたことを思い出した。（写真・文 西野 孝法）



オオカマキリ



チョウセンカマキリ



ハラビロカマキリ

4. 事務局より

2017年より西野が事務局を担当することになりました。至らぬところがあると思いますがよろしくお願い致します。今後も活動の内容を充実させていく所存です。ご近所の方、学校の友達も誘って参加して頂きたいと思います。

2017年3月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：harukan@ac.auone-net.jp